

(答弁書第七十二号) 昭和二十二年十月九日配付

内閣参甲第八二号

昭和二十二年十月七日

内閣総理大臣 片山 哲

参議院議長 松平 恒雄殿

参議院議員小川友三君提出米國木材(米材)輸入に関する質問に対し、別紙答弁書を送付する。

參議院議員小川友三君提出米國木材（米材）輸入に關する質問に對する答弁書

木材の輸入に關しては、政府として數次に亘り連合國司令部に對し現下我國の木材の緊要性と、その窮狀とを訴えて強力に懇請して居り、又關係民間團體においても司令部に對して極力陳情して居るのであるが、米國自体の木材の需給事情が容易ならざるものがあつて、木材の輸出を考慮し得る狀態でなく、懇請を受け容れられるに至らず、結局米材の輸入は困難であるが、目下南洋材の輸入要請中で、今後其極力輸入を懇請して御趣旨に沿ひ得るよう努力する所存である。従つて、國內木材の生産に努力しなければならぬが、濫伐を避くべきは勿論であるので、奥地林の開発計画的伐採に努め、造林についても積極的に計画実施し、治山治水についても万遺憾ないよう努力中である。